

平成27年 自己評価及び外部評価

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【総括表】

小規模多機能ホーム きずな

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 エフオート	代表者	沖 利晴	法人・ 事業所 の特徴	当社では土木事業（測量設計）、広告・出版事業、福祉事業を運営している会社です。福祉事業においては、小規模多機能ホームきずな、サービス付高齢者向け住宅きずな、居宅介護支援事業所きずなを併設しております。私達は、「きずな」という言葉を胸に、ご利用者様・ご家族・地域の皆様との絆を深め信頼を得ることで、第二の家族と認めて戴けるよう職員一丸となって大切な利用者様をお預かりする覚悟と責任をもって取り組んでおります。
事業所名	小規模多機能ホーム きずな	管理者	入口 美貴		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	1人	人	人	3人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			スタッフの個別評価もしっかりされ、それをもとにミーティングにはほとんどのスタッフが参加し全員で事業所評価に取り組んでいることがよく分かった。また、スタッフ全員の意見もよく反映されている。	フェイスシートに記載されている情報に加えて”日々関わりシート”を新たに用意しスタッフが日々関わる中で知り得た情報をシートに書き込むようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境			明るいイメージであり入りやすい環境である。不快な音や臭いはなく事業所の門や玄関に鍵は掛かっている。	事業所が行うイベント（納涼祭・敬老会・餅つき）等に、利用者家族、地域の方々に声かけし、まずは事業所に足を運んで頂ける機会を設け、継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり			城東校区で考えるとあまりにも広すぎるため皆が知っているとは考えにくい。共働き世帯が多いためイベントを企画しても（防災訓練等）人が集まらないため中止した。	地域の行事やイベントを確認し、事業所や個人で参加できる行事、イベントには極力参加する。たとえば個人では市民運動会、事業所ではお祭りなど。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み			利用者本人がお金の管理が出来ないため自治会費など支払いに行ったり、ゴミ出し等のお断りの挨拶に出向いたりしている。	心配な方との関わり方について情報の得方や実際に関わる方法など民生委員の方や自治会長、行政機関の方たちと会議を開いて関わり方の体制を整える。

E. 運営推進会議を活かした取組み			<p>運営推進会議では細かく内容報告がなされている。他事業所の運営推進会議の様子などを聞き良いところは取り入れ常に改善しようとしている。</p>	<p>運営推進会議の時間などパターン化せず、昼食やおやつ時に試食会やお茶会を開き会議らしくない会議とすることで沢山の人に参加して頂けるような集まりの会にする。</p>
F. 事業所の 防災・災害対策			<p>AEDの設置を行っているため自治会の総会で報告させてもらうようにする。避難訓練を実施するときには声を掛けさせてもらうので是非参加してほしい。立地的に津波に対して直接被害はないが、ライフラインが寸断され孤立してしまう可能性があるため、地域での協力体制を強硬にするためにはやはり訓練が必要だと思う。</p>	<p>防災備蓄品は消費期限がくる前にはスタッフ、利用者さん家族、住民の方に試飲、試食して頂き関係を深め、いざという時の関係が構築できるよう努める。事業所の避難訓練に近隣住民の方たちにも声かけし、参加して頂けるよう案内する。まずは民生委員、自治会長さんたちに参加して頂く。</p>